日本の統治制度・戦後憲法史の研究

研究分野：統治制度、法制史

キーワード：日本国憲法、戦後史、憲法史、沖縄

貢献できるSDGsの区分：

地域創造学部 公共政策学科 教授 相馬清貴

教員情報URL https://sun.ac.jp/soma-kiyo/

研究概要

〇日本の統治制度の特徴について、主として憲法の観点から、海外との比較等を通じ概括的に研究している。
〇日本国憲法施行直後における天皇の憲法意識等について、永井隆博士の表彰問題を手掛かりにして、調査研究している。
〇1972年の日本返還まで米国統治下にあり、特殊な法の適用空間にあった沖縄について、いわゆる裁判移送問題を取り上げ、米国側と沖縄側の法に対する意識の違い等を研究している。

産学連携の可能性（アピールポイント）

〇永井隆博士に対する当方の関心は、主として日本国憲法に定められた天皇の国事行為たる栄典の授与に関する解釈から派生したものであるが、博士が多くの著作をあらわした当時の博士に対する日本社会のイメージがどのようなものであったのか、またそれがどのようにして形成されたのかについても関心があり、博士に関心を有する関係の方々との連携ができればうれしく思う。

外部との連携実績等

現在まで特になし。